

# SON・岩手新型コロナウイルス感染防止に関する安全対策マニュアル（第3版）

2020年9月 スペシャルオリンピックス日本・岩手

SON・岩手では、新型コロナウイルス感染拡大のために休止していたプログラムを再開するに当たり、アスリートをはじめコーチ、ボランティア、ファミリー等参加者全員について感染防止を図るための安全対策マニュアルを次のとおり策定する。

参加者は、本マニュアルを基本とし安全なプログラム活動に取り組むものとする。

## 1 プログラム前、プログラム中、プログラム後における感染予防のための留意点

ここでは、参加者がプログラム実施及びその前後で留意すべき点や施設利用面での留意点などを定める。

留意事項	プログラム前 (日常生活含む)	プログラム実施中	プログラム後 (日常生活含む)
1 活動施設のルールを守る		・活動する施設で決められた感染予防のためのルールを守る。	
2 3密を避ける	・プログラム活動前後をはじめ日頃から3密回避を実践する。	・屋内の活動では換気をこまめに行う。 ・更衣室やシャワー室を使用する場合は他の利用者との兼ね合いもあることから、ファミリーの見守りで3密を回避する。	プログラム活動以外の場面で日頃から3密回避を実践する。
3 ソーシャルディスタンス (人との距離を2m空ける)	・プログラム活動前後をはじめ日頃からなるべく人との距離を空けることを実践する。	・プログラム活動中は、なるべく人との距離を空けて活動する。 ・握手やハイタッチは控える。 ・見学者は人との距離を空けて見学する。	プログラム活動以外の場面で日頃からなるべく人との距離を空けることを実践する。
4 マスク着用	・プログラム活動前後をはじめ日頃からマスクを着用する。	・プログラム活動中は、アスリートにはとくに着用は求めない。コーチやボランティアは原則としてマスク着用とする。 ・大声は出さないようにする。 ・見学者はマスクを着用する。	プログラム活動以外の場面では日頃からマスクを着用する。
5 手洗い	・プログラム活動前後をはじめ日頃から手洗いを実践する。		プログラム前後を含め日頃から手洗いを実践する。
6 共有用具の消毒		・共同で使用する用具（バスケットボールやボッチャ用具など）はアルコール消毒する。 ・コップやタオルは共同では使わない。	

## 1 プログラム前、プログラム中、プログラム後における感染予防のための留意点（つづき）

留意事項	プログラム前 (日常生活含む)	プログラム中	プログラム後
7 日々の体調チェック (体温、倦怠感、せき、喉の痛みなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム活動前後をはじめ日頃から実践する。</li> <li>・プログラム前にも確認する。体調に不安がある場合は参加しない。</li> <li>・14日以内に症状がある場合はコーチに伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッドコーチは、プログラム開始時に参加者の検温を実施するとともに、体調を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム活動から前後をはじめ日頃から実践する。</li> </ul>
8 基礎疾患の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病、心疾患、呼吸器疾患、高血圧がある場合はコーチに伝える。</li> <li>・上記疾患がある場合、必要に応じて医師にプログラム再開を相談する。</li> <li>・コーチはアスリートの健康情報を再度確認する。</li> </ul>		
9 周囲の人の状態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14日以内に家族に体調不良（発熱）や渡航歴のある場合にはプログラム参加を控える。</li> <li>・14日以内に家族に感染者との濃厚接触者いる場合はプログラム参加を控える。</li> </ul>		
10 活動時間の工夫		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各プログラムとも短時間で効果的な活動を工夫して取り組む。</li> </ul>	
11 参加者記録の徹底		<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の中から感染者が発生した場合に備え、ヘッドコーチは各回の参加者を確実に記録する。</li> </ul>	

## 2 プログラム後に参加者から感染者が発生した場合の連絡体制

- ① 当該参加者は、感染判明後直ちにプログラムのヘッドコーチに連絡する。
- ② 連絡を受けたヘッドコーチは、利用施設及びS P委員長に連絡するとともに、直近14日以内に行われたプログラムの参加者名簿をS P委員長に示す。
- ③ S P委員長は、理事長及び事務局長、医療安全対策委員長（代理）にプログラム参加者名簿とともに情報を伝達する。
- ④ 事務局からSON本部に連絡する。

### 3 感染者が判明した後の対応について

感染者判明後に対応する事項とその担当を次のとおり定める。

- ① 感染者を管轄する保健所に連絡し、必要な対応について助言を受ける。(医療安全委員会と事務局)
- ② 参加者への連絡と体調の聞き取り (医療安全委員会と事務局)
- ③ 対外的な連絡窓口 (事務局)

(主たる担当者) 医療安全対策委員会： 小山田医療安全委員長代理 吉田医療安全委員  
事務局： 高橋事務局長 千葉事務局員

### 4 プログラム活動の中断と再開について

SON・岩手としては、プログラム関係者(アスリート、ファミリー、コーチ、ボランティア)から感染者が発生した場合は、全てのプログラム活動を直ちに中断することとする。

活動の再開については、プログラム関係者からの感染者がない状態が14日以上続いた時点で判断する。

(附則) 第1版 2020年6月1日から施行する。

第2版 2020年7月1日から施行する。

第3版 2020年9月12日から施行する。